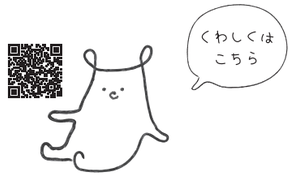


NONOICHI

第二次総合計画

2022-2031

── ダイジェスト版 ──

VEGETABLE OIL INK
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
ミックス紙
FSC FSC® C014238

かがやき無限大（むげんだい） みんなでつくる インパクトシティ

NONOICHI

第二次総合計画 2022-2031

── ダイジェスト版 ──

野々市市
第二次総合計画

総合計画とは？

まちづくりの方向性を示す、市の基本となる計画です。「基本構想」と「基本計画」で構成されています。

基本構想

計画期間：10年間
（令和4年度～令和13年度）

中長期的な視点で、野々市市が実現したい将来都市像を明らかにし、これを実現するための分野ごとの基本目標を示しています。

基本計画

計画期間：5年間※
（令和4年度～令和8年度）

将来都市像や基本目標を実現するために必要な取組を示しています。各取組については、3ページ以降をご覧ください。

※中間見直しを行います。

将来都市像

これからの都市（まち）のビジョン

「インパクトシティ」には

さまざまな魅力が市の中に入っている	＝	in（イン）
インパクトを多くの人に与える可能性をもっている	＝	インパクト
県内一面積が小さい	＝	コンパクトなまち

という意味が込められています。

かがやき無限大（むげんだい） みんなでつくる インパクトシティののいち

みんながまちづくりに参加したくなる
魅力と輝きがあふれる
野々市市をめざします！

基本目標

1 市民生活
だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち

2 福祉・保健・医療
心のかよう福祉のまち

3 安全・安心
みんなで取り組む安全・安心なまち

4 環境
環境を考え、みんなで行動するまち

5 教育・生涯学習・文化・スポーツ
あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち

6 産業振興・地域振興
みんなが働きたくなる、活気のあるまち

7 都市基盤
くらし充実
快適がゆきとどくまち

8 行財政運営
多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち

まちづくりを進める上で 大切にする3つの考え方

市民協働のまちづくり

幅広い分野において、市民と行政との間で協働のまちづくりが定着していくことをめざします。

SDGsの推進

SDGs達成に向けた取組について、市民や団体、事業者などの多様な主体と連携を図りながら推進します。

「野々市ファン」の拡大

野々市市を応援してくれる「野々市ファン」を増やす取組を推進します。

1 市民生活　だれもがまちづくりの担い手となり、自信をもってアピールできるまち

市民と行政が協働して地域の発展に取り組み、市民が誇りや愛着を感じて住み続けたいと思うまち、市外の人が住みたくなるまちをつくります。

◀くわしくはこちら

1. 共に考え共につくるまちづくり
2. ふるさと意識の醸成と愛着心の向上
3. 多文化共生と国際交流の充実
4. 思いやりのまちづくり

市民に期待すること

- 市や町内会、市民活動団体などが発信する情報に関心を持ち、まちづくり活動や地域の行事に積極的に参加する。
- 国籍や民族、肌の色が違っても、同じ地域で生活している一員であるという意識を持つ。

市民と行政が協働で取り組めること

- 引っ越してきた人や大学生などの若者が地域の行事に気軽に参加できるように周知などに取り組む。
- 男女共同参画や人権の尊重について理解を深め、市が提供する情報を職場や地域などで共有する。

2 福祉・保健・医療　心のかよう福祉のまち

市民同士が互いに寄り添いながら暮らすことができ、医療や介護、子育ての支援により、健康に、安心して過ごせるまちをつくります。

◀くわしくはこちら

1. 地域共生社会の構築
2. 健康づくりの推進
3. 支援が必要な人への福祉の推進
4. 子育て支援の推進
5. 感染症対策の推進

市民に期待すること

- 障害や認知症などにより支援が必要な人のことを知り、地域みんなで見守り、必要に応じて市や公的機関を紹介する。
- 健康診査やがん検診を受診し、生活習慣病予防や介護予防に取り組む。

市民と行政が協働で取り組めること

- 市と町内会や地域のサークルなどが連携して、障害や認知症を抱える人などの特性や福祉制度について理解を深める機会をつくる。
- 地域ぐるみで健康づくりの意識を高める取組を行う。

3 安全・安心　みんなで取り組む安全・安心なまち

地域の防災機能の向上を図るとともに、交通安全対策や防犯活動を進め、市民が安全・安心に過ごせるまちをつくります。

◀くわしくはこちら

1. 防災対策の充実
2. 消防と救急体制の充実
3. 交通安全対策の強化
4. 防犯対策・消費者安全の強化

市民に期待すること

- 生活必需品を備蓄するなど、日頃から災害に備えるとともに、地域の防災訓練に参加する。
- 交通ルールをしっかりと守る。

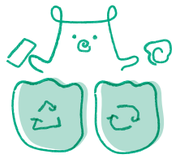
市民と行政が協働で取り組めること

- 市と町内会などが連携して、消防団員や防災士の確保・増加に向けて取り組む。
- 市と町内会や地域のサークルなどが連携して、消費者トラブルの予防に向けた勉強会の開催などに取り組む。

4 環境　環境を考え、みんなで行動するまち

環境負荷の少ない社会の構築に向けた取組を進めるとともに、公害の抑制や田園の環境を保全することで、季節の彩りを身近に感じるまちをつくります。

◀くわしくはこちら



1. 環境負荷の少ない社会の構築
2. 自然環境と生活環境の保全
3. 循環型社会の形成

市民に期待すること

- 公共交通機関の利用や、エコドライブに取り組む。
- 近くへ出かけるときは、徒歩や自転車で移動する。
- ゴミ出しのルールを守り、リデュース、リユース、リサイクル（3つのR）に取り組む。

市民と行政が協働で取り組めること

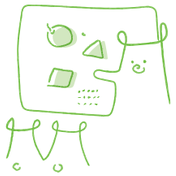
- 環境問題や3つのRなどの普及啓発に取り組む。
- 市民一斉美化清掃など、まちの美化に向けた取組を進める。

5 教育・生涯学習・文化・スポーツ

あらゆる世代が交流しながら、生涯にわたって学び、楽しめるまち

生涯にわたって学習・スポーツ・文化芸術などを楽しむことができるまちをつくります。また、家庭・地域・学校が一体となって「ののいちっ子」を育てます。

◀くわしくはこちら



1. 学校教育の充実
2. みんなで取り組む青少年の育成
3. 生涯学習の充実
4. 文化活動の充実
5. スポーツ活動の充実

市民に期待すること

- PTA活動への積極的な参加や家庭教育の充実に取り組む。
- 地域の子どもたちの見守り活動に参加する。

市民と行政が協働で取り組めること

- 地域との連携による授業の際に、場所や機会などを提供する。
- 市と関係団体などが連携して、文化財を有効活用しながら、野々市市の伝統文化を伝える機会をつくる。

6 産業振興・地域振興

みんなが働きたくなる、活気のあるまち

市民や市外の人、Uターンを考えている野々市市出身者など、さまざまな人が立ち寄りたい、働きたいと思えるような活気のあるまちをつくります。

◀くわしくはこちら

1. 商工業の活性化
2. 農業の活性化
3. 働きやすい環境づくり
4. 魅力の創造・発信によるにぎわいの創出

市民に期待すること

- 野々市ブランド認定品や市内で生産された農産物を購入することを心がけ、市外の人にもその魅力を伝える。
- 市や観光物産協会などが開催するイベントに参加する。

市民と行政が協働で取り組めること

- 市と農業者、事業者などが連携して、野々市の産品のプロモーションや、地元の農作物を食べてもらう機会づくりを行う。
- 市と関係団体が連携して、野々市の魅力や特色をPRする。

7 都市基盤

くらし充実　快適がゆきとどくまち

街並みと自然が調和し、マイカーに頼り過ぎなくても便利で充実した暮らしを送ることができるコンパクトで快適なまちをつくります。

◀くわしくはこちら

1. 魅力ある街並み形成と住環境整備
2. 交通の円滑化と公共交通網の充実
3. 安定した上下水道の運営

市民に期待すること

- 生垣や花壇を設置し、まちに花や緑を増やす。
- 地域みんなで協力して美化清掃や除雪に取り組む。

市民と行政が協働で取り組めること

- 市民と行政が一緒に考えながら、まちづくりや街並みづくりに取り組む。

8 行財政運営

多くの人に魅力が知られ、安心して長く暮らせる、市民みんなが支えるまち

全国に野々市ファンを増やすとともに、市民と行政の信頼関係のもとで、幅広い世代や立場の市民によって支えられるまちをつくります。

◀くわしくはこちら

1. 開かれた市政の推進
2. 人材育成の推進
3. 安定した行財政運営の推進

市民に期待すること

- 市の広報紙やホームページ、SNSを見るなど、市が発信する情報に興味・関心を持つ。
- オンラインやコンビニでできる行政手続制度を活用する。

市民と行政が協働で取り組めること

- 市民にとって便利な窓口の実現に向けて、一緒に考える。
- 町内会などの協力により、市職員が地域活動に参加できる環境をつくる。